
川者

猿読み

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

川者

【Nコード】

N4690B

【作者名】

猿読み

【あらすじ】

何もかも失ってしまった。何もかも奪われてしまった。残されたのは憎しみだけ……殺すことだけが僕の目的

(前書き)

殴り書きの作品なので多少適当です。御了承ください。

思い残した事は数知れず、言いそびれた言葉は今も夜空に漂っている。

大切な物は置いていく、
ただそれだけの事なのに、明日は何もかも奪っていく、ただそれだけの事なのに。

僕は生まれた時から全てを失っていた。

顔は奇形で両手、両足の指の間が薄い皮で繋がっていた。

母親はそんな僕を川に投げ捨てた。

運悪く、その時僕は石に頭をぶつけ、頭のとっぺんがへこんでしまった。そのお陰で僕は言葉までも失ってしまった。

このまま死んでもよかった。でも僕は生きた。この恨みを晴らすため、両親をこの手で殺すため。

僕は長い年月を川で過ごした。そのためか身体は青く変色した。

僕は人間としての肌の色も失ってしまった。

そして両親の恨みもそれと同じく失うたびに膨れ上がった。

ある日川辺に仲の良さそうな家族が歩いてきた。

それは間違いなく僕の両親だった。

間に挟まれて小さな男の子が歩いていった。

みんな幸せそうだった、しかしそれは僕の怒りを爆発させた。

僕は怒りのあまり川から飛び出し、両親達の目の前に立ちはだかった。

『グエ〜』

僕は言葉にならない声を両親達に向かって発した。

「河童さんだあ」

小さな男の子が僕に指を差して言った。

僕は人間だああ！

『グエ〜』

僕は両親達を噛み殺した。もちろん男の子も……

僕は今でも川に住み続けている。

僕のすべてを奪っていく者達に復讐するために……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4690b/>

川者

2010年10月27日08時35分発行